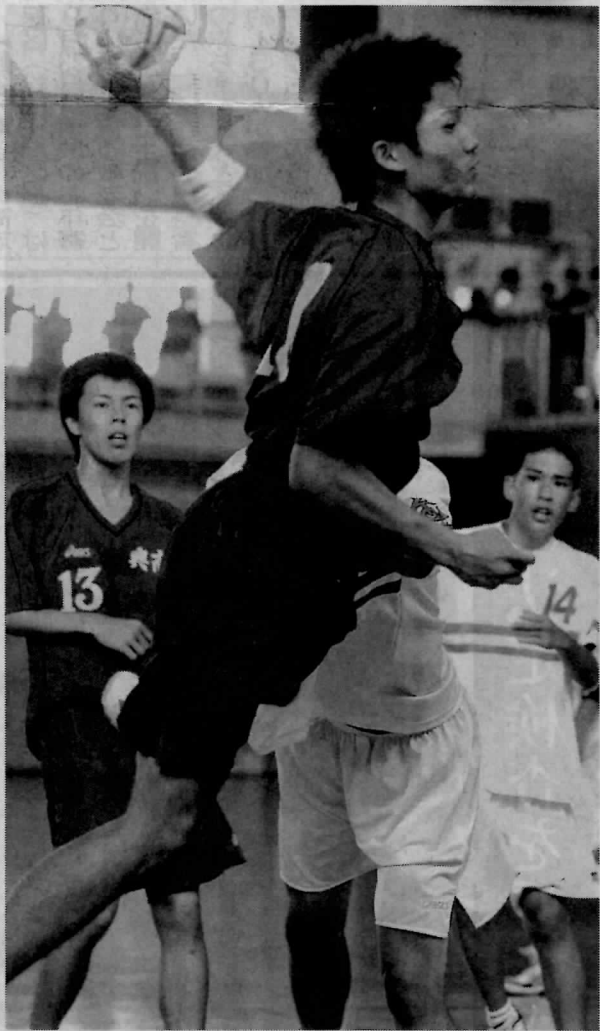


興南が6連覇

県高校
ハンド
女子は那覇西4連覇



ど、足でかき回した。
13点リードで迎えた後半は、8月の全国高校総体決勝でも活躍を見せた屋比久浩之を筆頭に力強いプレーを連発。相手守備に体ごとぶつかる迫力あるシュートでゴールを奪った。

ハンドボールの第47回県高校選手権大会最終日は9月30日、東風平運動公園体育館で男女の決勝を行い、男子は興南が44-25でコザを圧倒、6連覇を果たした。女子是那覇西が31-21で陽明を下し、4連覇した。

【男子】
▽連決勝

興南 34 2212 1311 24 具志川商
コザ 29 1613 814 22 那覇西

▽決勝

興南 44 2321 178 25 コザ

【女子】
▽連決勝

陽明 24 1311 620 浦添商
那覇西 34 2113 115 16 コザ

▽決勝

那覇西 31 1615 1110 21 陽明

足でかき回す

興南、多彩な攻め圧倒

〇…伝統的な強さを誇る

興南。1、2年で構成された新チームとしては、初の大会だが、力の差を見つけた。

前半、黒島誠主将を軸にスピード感あふれる攻撃を展開。速攻や角度のない左

終わってみれば、44-25と大差の勝利。それでも黒島宣昭監督は「思ったよりも相手に取られてしまった」と不満げ。屋比久も「自分を含め課題が山積み」と振り返り、新チームでの成長を誓った。

堅守速攻で勝利

那覇西

〇…女子那覇西は、県大会の決勝で度々顔を合わせ「宿敵」陽明に、守備から攻撃につなげる堅実なプレーで勝利した。

序盤から存在感を發揮したのは主将の玉城令也。左45度からのロングシュートや、パスカットから自ら速攻で決めるなどパワフルな攻撃を見せた。

しかし、途中から要所でパスミス、ファウルも重なり相手に7点スローを許し3失点。それでも狙っていたポストプレーが機能しはじめ、流れを取り戻した。

玉城は「合言葉の『堅守速攻』がうまくできた」とにっこり。「後半は足が止まったところもあったが、みんな最後までよく走ってくれた」と感謝も口にした。

男子決勝 興南コザ 前半、シュートを決める興南の屋比久浩之 9月30日、東風平運動公園体育館 (本文女子撮影)